

## 地方都市における溢流の場

### □コンセプト

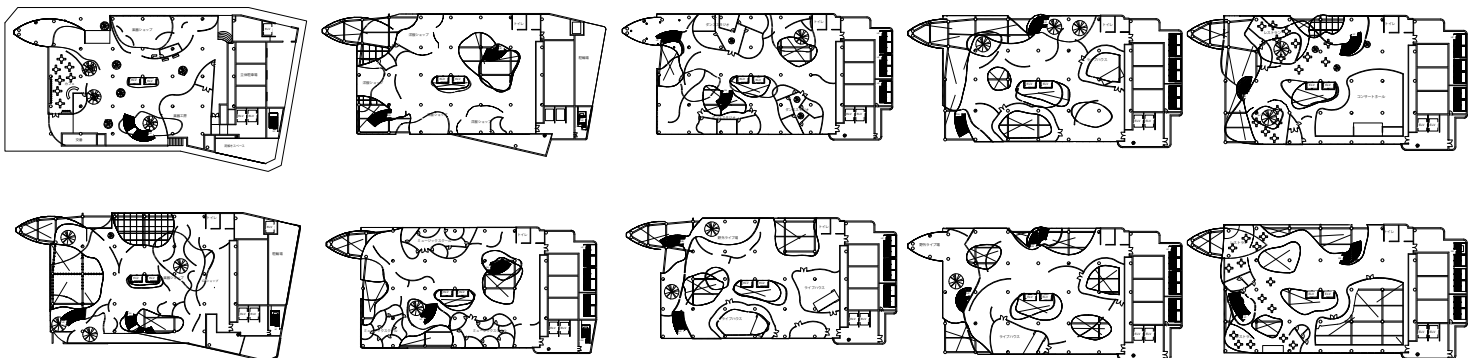
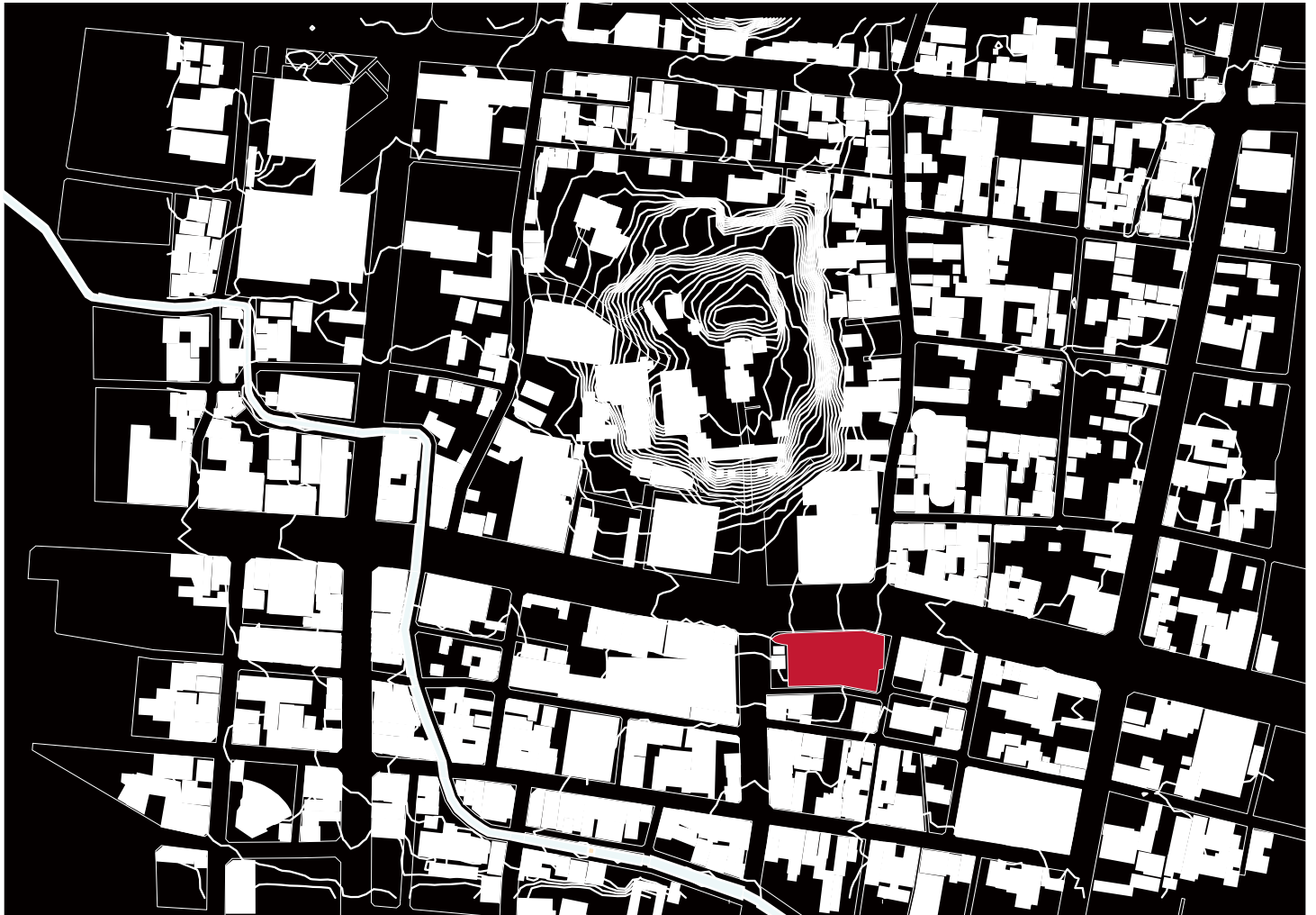
栃木県宇都宮市の中心街は音楽の街と呼ばれている。市は音楽で街を活性化させようと様々な取り組みをしているが、あまり成功していないように感じた。また、ここはテクノポリスとして開発され、開発の中心となるパルコが作られた。しかし、パルコは閉店してしまい、少し活気がなくなったように見えた。そこで、このパルコを利用した巨大な音楽の建築を作れば音楽の街としての活気が出るのではないかと考え設計した。

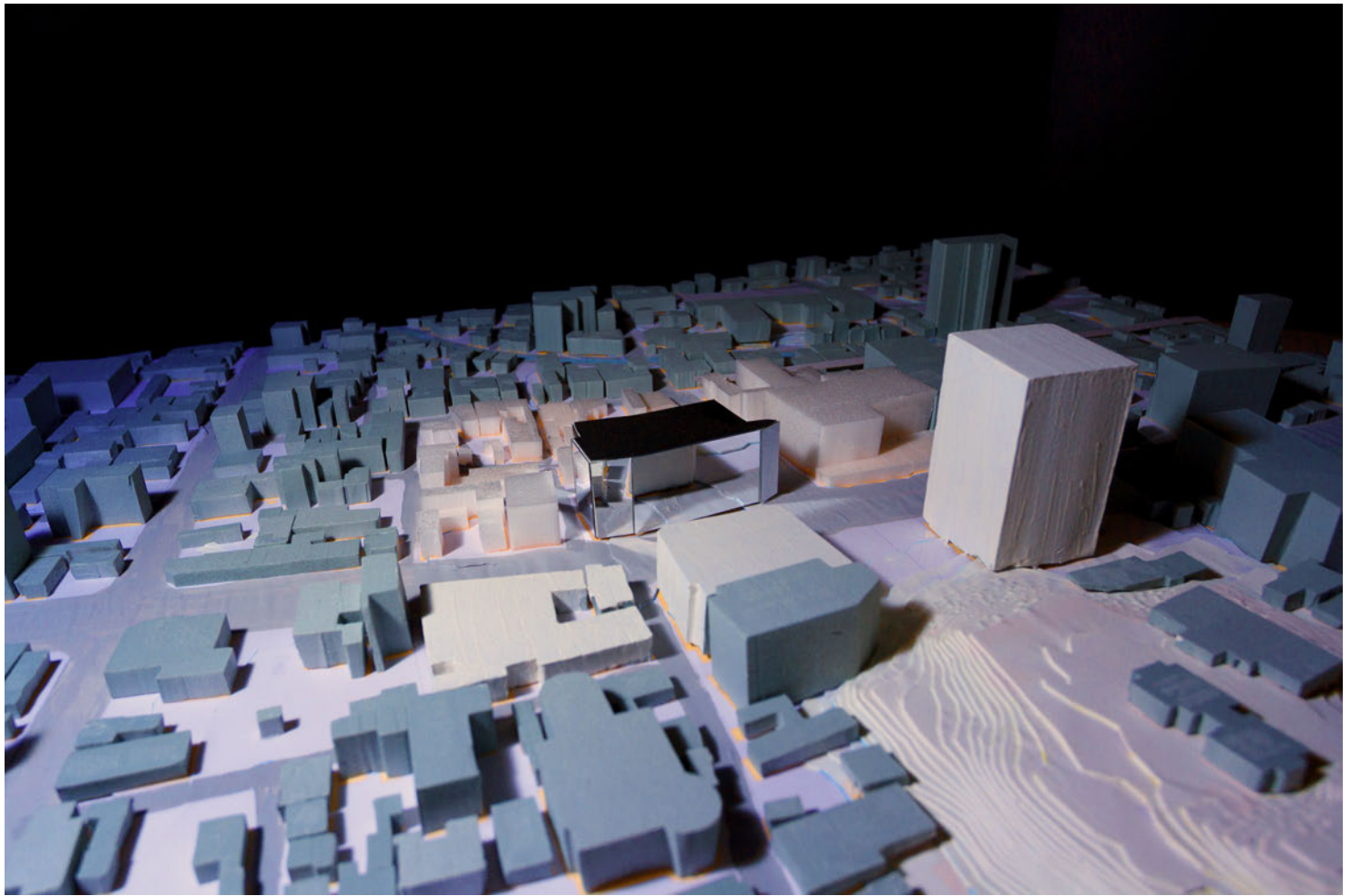
### □プログラム

宇都宮パルコをリノベーションし、巨大な音楽の建築を設計した。演奏ができる場は限られており、この建物内ならどこでも演奏できるように設計した。私が感じた音楽の敷居の高さを無くすようにカフェなどが入っている。また、この建物内どこでも楽器を演奏できるようにし、百貨店のBGMを人の生演奏に変えるようにした。ここにはライブハウスのほかに屋外ライブ場があり、一般の人でも入りやすいようになっている。



阿部 正宜  
建築設計計画 | 研究室





## □デザイン

百貨店やライブハウスのようなブラックボックスを無くすようなデザインになっている。すべての階が半外部の余剰になっており、外部に音を出し、周辺の人に音楽を聴かせることができる。

内部では、大きな吹き抜けが各階にあり、上下での音のつながりがある。耳だけではなく、演奏している人や、ダンス、楽器など目でも音楽を楽しめるようになっている。

